

<高度生殖補助医療>

卵子を体外で精子と受精させ、育った授精卵を子宮に戻します

体外授精

同じ培養液中に卵子と精子を置いて
自然の授精を期待する方法

体外受精(IVF)



顕微授精

卵子に直接一つの精子を注入する方法
※当日の精子の状態が思わしくない場合・授精障害がある場合の方法

顕微授精(ICSI)



【採卵周期】

排卵誘発治療 月経開始3日目から注射・内服薬等で卵胞を育てていきます。



注射・診察のために連日来院していただく事になります。(自己注射ご希望の方はお申し出下さい)

18mm以上育った卵が複数確認できたら採卵のタイミング。採卵施行日は前々日のお伝えになります。

採卵

育った卵胞を体外へ取り出します。



早朝に採卵を行い、2時間程安静にさせていただきます。その後診察をして問題無ければ帰宅。

授精 胚培養



胚凍結保存

成長の見られた胚は次の移植周期まで凍結保存します。

【融解胚移植周期】

移植周期には2種類あり、患者様にどちらが適しているか医師が判断して行います。

ホルモン補充周期(薬を使用して子宮の内膜を厚くし、着床の準備をして移植)

→月経開始から19日目が移植日

自然周期(自然な排卵のタイミングに合わせて移植)

→排卵確認した日の5日後が移植日

※当院の休診関係や不妊検査の結果から、患者様によっては多少ずれる事もあります。

胚移植

凍結保存していた胚を融解し、子宮に戻します。



朝 or 昼に移植を行い、1時間程安静にいただき体調不良等なければ帰宅。

妊娠判定

・ホルモン補充の人は移植日からおよそ9日目に来院し血液検査にて判定します。

・自然周期の人は月経の有無で判定。予定日に月経来なければ自宅で検査を。